

きらり☆



北小っ子だより



めざす子ども像

やさしく かしこく たくましく

勝央北小学校学校便り 第7号
令和4年9月30日 発行



朝夕は秋らしくなってきました。子どもたちも、ずいぶん登校しやすそうになりました。長袖の制服で登校してくる人も何人かいます。天気の良い日は、まだまだ暑さが残り気温差も大きいので、体調管理に気をつけて、服装も調節しながら過ごしてほしいと思います。

秋は、実りの秋です。春に種をまいたものが時間をかけて大きく育ち、実る季節です。2学期が実り多いものとなるよう、児童と一緒に前進していきたいと気持ちを新たにしています。

楽しく盛り上がった運動会。応援、ありがとうございました！



9月17日(土)は、開校15周年の運動会でした。2学期に入ってからは、休み明けの学校の日常を少しずつ取り戻しながらも、運動会へ向けても練習するという目標に向かって取り組んでいました。

特に5・6年生は、自分たちの演目を完成させるだけでなく、運動会全体を動かす係として



とても積極的に活動できました。

どの学年も、自分たちの頑張ってきたことをしっかり表現できていて、それぞれの心に残る、とても良い運動会になったのではないかと考えています。保護者の皆様からいただいたアンケートを読ませていただくと「頑張っていた」「成長を感じた」「まとまりを感じた」などの温かい感想を多くお寄せいただきました。児童アンケートからも「楽しかった」「やってよかった」「きちんとできた」といった気持ちになっていた児童が多かったようです。

コロナ禍で制約もありましたが、皆様のご協力でスムーズに運動会が実施できましたことに、厚くお礼を申し上げます。また、PTA役員の皆様には前日準備からお力添えをいただきありがとうございました。後片付けも、多くのおうちの方々にご協力いただき滞りなく行うことができました。重ねてお礼申し上げます。



次年度以降の運動会は、年間行事を見通し、全体の負担軽減を図り、児童の主体性をさらに生かせる

行事となるよう、また、保護者の皆様からの運動会アンケートも参考にさせていただき、ニューアルの方向で検討していきます。「自分たちで、一生懸命にやりきった。」と思えるような行事となるよう考えていきたいと思えます。

ありがとうございました。

水島仁美様(奈義町)より、児童の為に使ってくださると金一封をご寄付していただきました。遊具などの補充や補修に、ありがたく使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。

委員会活動(図書委員会)



委員会活動は、5～6年の児童が意欲的に取り組んでいる特別活動の一つです。

図書委員会は、自分たちで本や紙芝居を選び、低学年へ読み聞かせをしています。また、図書管理システムで貸し出しや返却手続きを、名簿と本のバーコードを読み込んで行うなどの日々の貸出業務も行っています。そして、年に1～2回、「読書祭り」というイベントを計画し開催しています。図書室に借りに来たらくじが引けたり、手作りしおりがもらえたりするなど、楽しみに来る児童も多いです。返却が遅れた児童への督促状を作ったり、新刊本の紹介を書架に貼ったりするなど、みんなのために自主的な活動ができています。

その他にも委員会があり、それぞれが主体的な活動を行っています。児童の日々の活躍ぶりを順次紹介していきます。

10月中旬～11月上旬の予定

10月 7日(金) 開校15周年記念角力大会
 10日(月) スポーツの日
 11日(火) あいさつの日・指導
 12日(水) ぱっちりモグモグWEEK
 家庭学習強化週間(～18日)
 13日(木) 1～5年社会見学
 6年非行防止教室
 (インターネット)
 17日(月) SC(AM)
 18日(火) 6年社会見学
 (備前・吉備路方面)

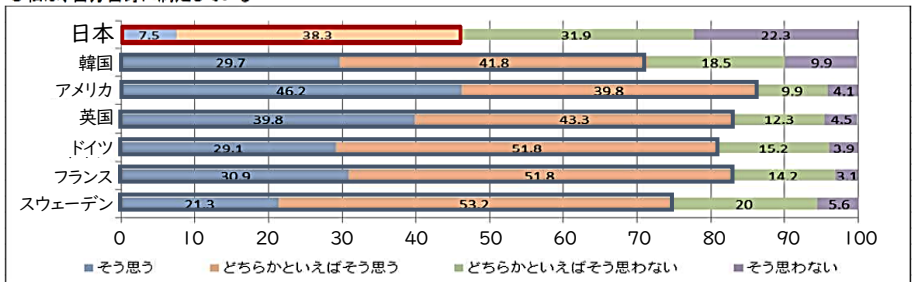
21日(金) 6年1日修学旅行
 (大山・蒜山方面)
 24日(月) 2・5年秋の花いっぱい運動
 25日(火) 交通指導 集金日
 27日(木) 学校運営協議会 19:00～
 28日(金) クラブ④
 31日(月) SC(PM)
 11月 3日(木) 文化の日
 4日(金) 委員会
 5日(土) 開校15周年記念
 学習発表会
 7日(月) 振替休業日

自己肯定感の話 ②

先号に続き、勝央町として取り組んでいる非認知能力の育成と関わりが深い自己肯定感の資料を紹介します。

右のグラフは、文部科学省のHPに出されている調査結果[平成25年度調査です。我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(内閣府)の結果から作成。中教審資料]です。他国の若者と比べて「自分に満足している」(上)という回答は低い一方で、「自分は役に立たないと強く感じる」(下)は、他国の結果にほぼ近い回答です。この二つを関連付けて考えると、日本の若者は、『「役に立たない」と感じている自分自身に満足できない』と考えているのかもしれませんが。このグラフを見る限りでは、自己肯定感の低さは、全国的な傾向なのかな、とも感じられます。

●私は、自分自身に満足している



●自分は役に立たないと強く感じる

